

ニュースリリース

長谷工コーポレーション、カワト T.P.C.連携し BIM データを活用した「給水給湯配管の自動設計システム」を開発 ～設計品質の向上と約 70%の生産性向上を実現～

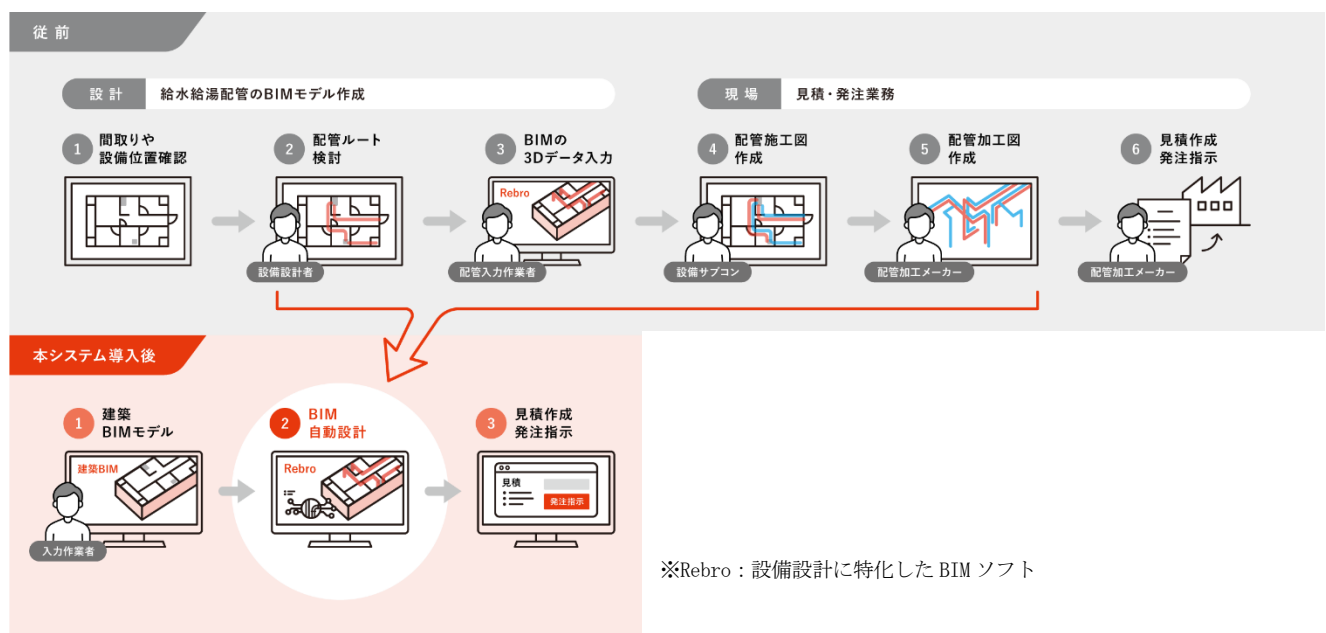
株式会社 KICONIA WORKS（本社：東京都渋谷区、代表取締役：書上 拓郎、以下「当社」）は、株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：池上 一夫）、株式会社カワト T.P.C（本社：山口県岩国市、代表取締役社長：桐田 直哉）の 2 社と連携し、BIM データを活用したマンションの「給水給湯配管の自動設計システム」（以下「本システム」）を開発しました。4 月より東京地区から先行して導入し、将来的に全案件の導入を目指します。

建設業界は、2024 年 4 月に適用開始された「働き方改革関連法」による時間外労働の上限規制など、いわゆる「2024 年問題」への対応を求められています。この課題に対処すべく、当社は 2020 年より長谷工コーポレーションおよびカワト T.P.C.と連携を開始しました。2 社の技術やノウハウ、長谷工版 BIM のデータを活用し、さらに 3 次元配管のルールを加えることで、本システムの開発を実現しました。

従来は、マンション住戸の間取り図から、人手で給水給湯の配管ルートを設定し 3 次元の BIM モデルを構築していました。本システムは、BIM データから必要な情報の抽出、給水給湯の配管のルーティング、3 次元の BIM モデルの作成を自動で行います。これにより、設計品質の向上と、従来に比べ約 70%の生産性向上を図ることができます。さらに、配管の見積作成や部材発注に使用する 2 次元の図面作成を 3 次元モデルの自動設計に置き換えることで、建設現場における業務フローの改善も期待できます。

今後は、排水管・排気ダクトを加えた、給水給湯・排水・排気ダクト一貫の配管自動設計システムを開発することで、さらなる設計品質および生産性向上を目指してまいります。当社では、こうした DX（デジタルトランスフォーメーション）の具現化に向けて、今後も様々な企業の支援を進めてまいります。

【本システムによる業務の変化】



【KICONIA WORKS について】

KICONIA WORKS は、顧客課題と真摯に向き合いビジネスを理解し、AI などさまざまな最新技術を顧客価値に転換するスペシャリスト集団です。顧客課題に応じて、AI や数値最適化など最新技術を用いたアプリケーション開発から従来型のシステム開発まで幅広く提供しています。多岐にわたるプロジェクトを経験してきた少数精鋭のスペシャリストだからこそ、スピード感のある価値創造が可能であり、2018 年の創業からの 5 年半で約 200 のプロジェクトを成功に導いてきました。

社 名：株式会社 KICONIA WORKS

設 立：2018 年 5月18日

代 表：代表取締役 書上 拓郎

事業内容：最新技術の導入／活用コンサルティング、アルゴリズム・モデル開発、
システム開発・運用サポート、新規事業・サービス開発

U R L： <https://www.kiconiaworks.com/>

本件に関するお問い合わせ

pr@kiconiaworks.com